

カラーインクジェットプリンタ Tx300P-1800/Tx300P-1800 MkII

お手入れのお願い

本機は非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特にインクを吐出するヘッドのノズル面は、わずかなホコリや紙粉の付着でも影響を及ぼし、正常なプリント結果を得られなくなる可能性があります。より良い状態でご使用いただくために、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

1. お手入れを行うタイミング

お手入れを行うタイミング	お手入れ項目	参照ページ
長期間使用しない場合	「保管洗浄」の実行	P.3
メディア交換時	インク受けスぺーサ	P.4
毎日 (1日の作業終了後)	ヘッド周辺	P.4
	キャッピングステーション	P.5
	ワイパー	P.6
	布押さえ・メディア押さえの清掃	P.7
	メディアセンサー	P.7
1週間に1回 (週末の作業終了後)	プラテンの清掃	P.8
	折り返しバー(巻取側)の清掃	P.8
	引っ張りローラーの清掃	P.9
	外装	P.9
	廃インクタンク	P.9
	インク排出路	P.9
	ヘッドノズル面の縁の清掃 (Sb411+TP400, Sb411+Sb420 インクセットの場合のみ)	P.10
1か月に1回	インク充填 (Sb411+TP400 インクセットの場合のみ)	P.10
プラテン切り替え時 (Tx300P-1800 MkIIのみ)	インク受けスぺーサ	P.10
	布押さえ・メディア押さえの清掃	P.10
	プラテンの清掃	P.11
破損・変形、汚れがひどい場合/ 定期的に交換が必要なもの	消耗品の交換 ファンフィルター/ワイパー/キャップ吸収材/ピンチローラー/ スパウトゴム/MBIS オスコネクタ吸収材	P.12



■お手入れに必要な道具

- クリーンスティック (品番: SPC-0527)
- 洗浄液
- 綿棒
- 保護メガネ
- 手袋
- 柔らかい布
- テクノワイプ (品番: SPC-0855)



- インク種により使用するメンテナンス洗浄液は異なります。洗浄液はお使いになるインクに対応したものをお使いください。

2. 安全上のご注意

⚠ 注意



お手入れの際は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で15分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。インクが皮膚に付着した場合は、大量の水および石鹸または皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落としてください。



インクは、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面、ヘッド周辺やキャップ、ワイパーなどに、水またはアルコールを付着させないようにご注意ください。



本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間使用（出力）しないときは、充填するインク種によって定期的に微量のインクを吐出（フラッシング）させる必要があります。長時間使用しないときは、本機の[ホカンセンジョウ]機能（取扱説明書5章「長期間使用しない場合」）を実行してから、前面の電源ボタンのみをオフにしてください。右側面の主電源スイッチはオン（|の状態）およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。



本機を絶対に分解しないでください。感電、火災および破損の原因になります。



本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電、火災および破損の原因になります。



お手入れは、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。



ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質、変形する恐れがあります。



本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。



本機に子供を近づけないでください。

3. 設置環境

- できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。
- 使用環境は、+20～+30℃（68°F～86°F）、35～65% Rhです。これより低温湿/高温湿でのご使用は避けてください。

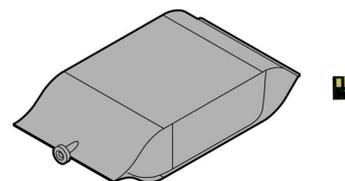
4. 長期間使用しない場合

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。（取扱説明書 4 章「長期間使用しない場合」）

5. インクパックの保管

次の事項に注意して保管してください。

- 直射日光が当たらず、湿度の高くない場所に保管してください。
- インクパックを落下させたりぶついたりしないでください。
- インク IC は、手で触れて汚したり、静電気放電させたりしないでください。
- インクパックとインク IC は必ず一緒に保管してください。



インクパックとインク IC

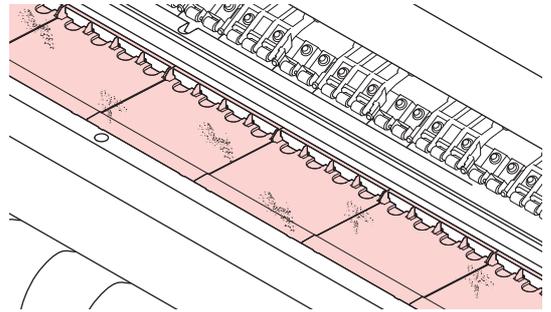
6. メディアの保管

メディアは、ほこりが付きにくく直射日光が当たらない場所に保管してください。また湿度も嫌いますので高温多湿な場所での保管は避けてください。

7. メディア交換時に行うお手入れ

(1) インク受けスペース（取扱説明書 4 章「インク受けスペースの清掃」）

インク受けスペースに付着したインクなどの汚れを洗浄したいとき、取り外して洗浄できます。



8. 毎日行うお手入れ



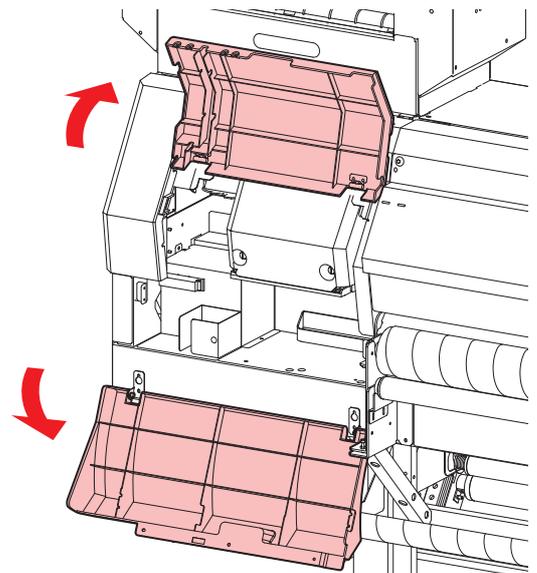
- ヘッド周辺 / キャッピングステーション / ワイパを清掃するときは、クリーンスティック (SPC-0527) をお使いください。
通常の綿棒をお使いになると、糸くずが残って二次障害を引き起こすことがあります。
- キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパは、必ず毎日メンテナンスをおこなってください。汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生する恐れがあります。
- キャリッジ下面がインクやホコリの付着により汚れないように、必ず毎日清掃をおこなってください。汚れたままの状態にしておくと、ヘッドクリーニング時のワイブ動作でノズルにゴミや凝固インクをこすり付けてしまう恐れがあります。
- キャリッジ下面を清掃する場合、ノズル面をこすらないよう、十分に注意してメンテナンスをおこなってください。

(1) ヘッド周辺（取扱説明書 4 章「ヘッド周辺の清掃」）

- 重要!**
- ヘッド周辺は、本機の中で最も汚れがたまりやすく、本機の動作や作図結果に影響を及ぼす恐れのある場所です。また、ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れには十分な注意が必要です。
 - メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

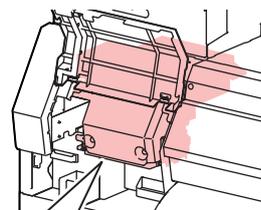
1 キャリッジを左へ移動させ、メンテナンスカバーを開く

- 取扱説明書 4 章「ヘッド周辺の清掃」手順 1～4 を参照して操作してください。



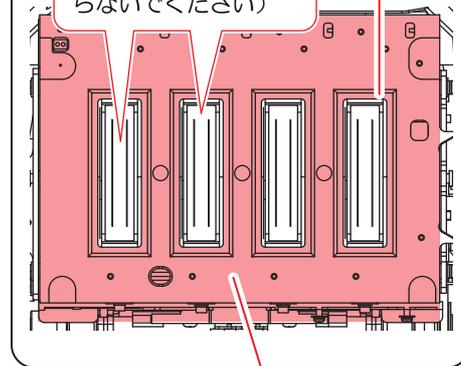
2 クリーンスティック、または不織布タオルにメンテナンス洗剤を含ませ、ヘッドの側面、スライダー底面、キャリッジ底面に溜まったインクを拭き取る

- ・ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



ヘッドの側面をクリーンスティックで清掃します。

ノズル部分 (絶対に触らないでください)



クリーンスティック、または不織布タオルで清掃します。

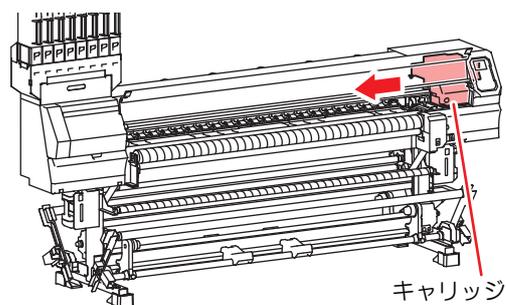
(2) キャッピングステーション (取扱説明書 4章「ワイパーとキャップの清掃」)

キャップ周辺も、ホコリやインクがたまりやすい場所です。ご使用のインクに適したメンテナンス用洗剤を使用し、ヘッドに汚れが付着しないよう、こまめな清掃をお勧めします。

- ・メンテナンス洗剤は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

1 キャリッジを移動させる

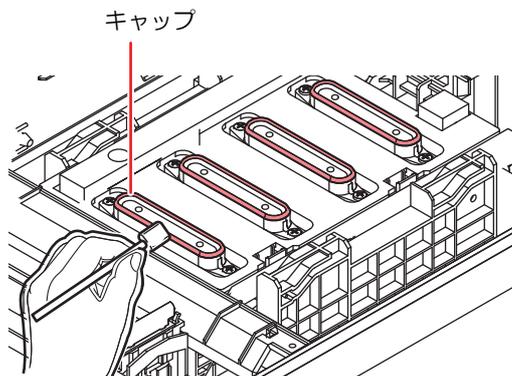
- ・取扱説明書 4章「ワイパーとキャップの清掃」手順 1、2 を参照して操作してください。



キャリッジ

2 キャップを清掃する

- ・クリーンスティックにメンテナンス洗剤を含ませ、拭き取ります。メンテナンス洗剤は、残らないように拭き取ってください。

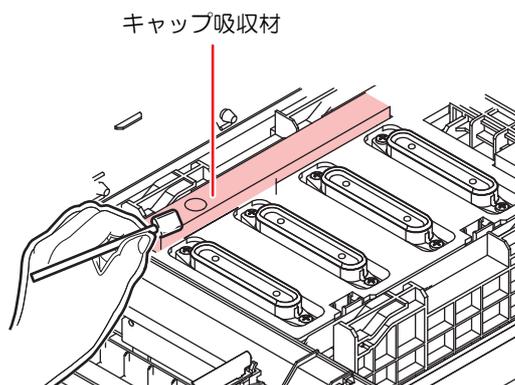


キャップ

3 キャップ吸収材に付着したインクを、クリーンスティック、または不織布タオルで押さえるように拭き取る

- ・クリーンスティック、または不織布タオルにメンテナンス洗淨液を含ませ、拭き取ります。メンテナンス洗淨液は、残らないように拭き取ってください。

キャップ吸収材の汚れがひどい場合は、取扱説明書 4 章「キャップ吸収材を交換する」にしたがって、新品のキャップ吸収材（品番：SPA-0269）と交換してください。



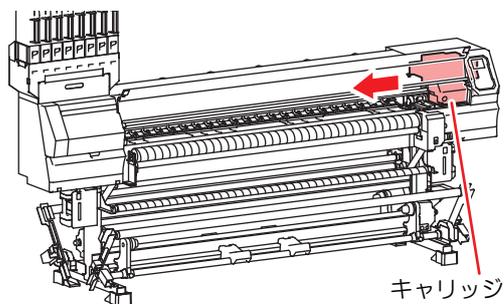
(3) ワイパー（取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」）

ワイパーには、インク、ホコリおよび紙粉などがたまりやすくなります。ワイパーの状態を確認し、汚れていたら清掃してください。W ワイパーを清掃する場合も、下記の手順のとおりに行ってください。

- ・メンテナンス洗淨液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

1 キャリッジを移動させる

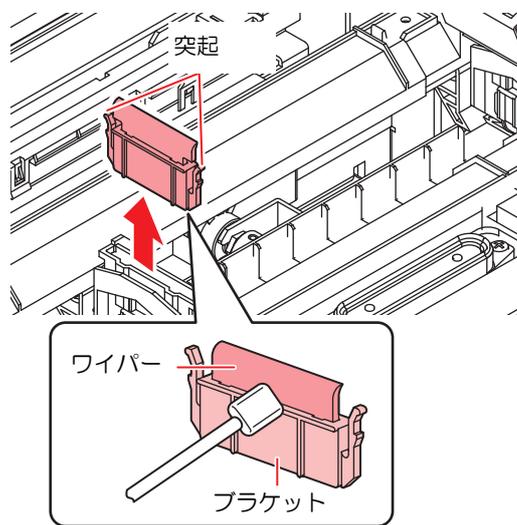
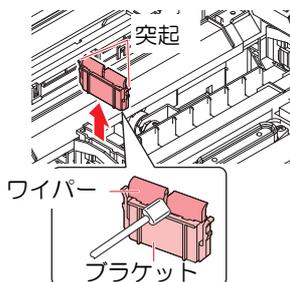
- ・取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」手順 1、2 を参照して操作してください。



2 ワイパーを清掃する

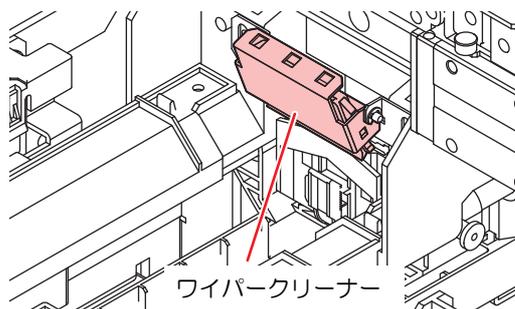
- ・ワイパー両端の突起を持って、ワイパーを取り出します。
- ・クリーンスティックにメンテナンス洗淨液を含ませ、ワイパーとブラケットに付着したインクを拭き取ります。メンテナンス洗淨液は、残らないように拭き取ってください。

- ・ W ワイパーの場合



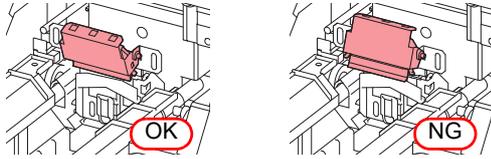
3 ワイパークリーナーを清掃する

- ・ワイパークリーナーに付着したインクを、メンテナンス洗淨液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。





- ワイパークリーナーはブラケットから取り外さないでください。
- ワイパークリーナーのワイパーは、表面のみ清掃します。(裏面は清掃の必要はありません)
- ワイパークリーナー清掃後は、クリーナーが上を向いていないことを確認してください。



また、次のような場合は、取扱説明書 4 章「ワイパーを交換する」にしたがって、新品のワイパーと交換してください。

- ワイパーが変形している場合
- 固着したインクが拭き取れない場合
- ワイパー交換のワーニングが表示された場合

(4) 布押さえ・メディア押さえの清掃 (取扱説明書 4 章「布押さえ・メディア押さえの清掃」)

メディアのカットくずやホコリがメディア押さえとプラテンの間にたまると、メディアの搬送が正常に行えなかったり、ノズルに付着して正常なプリントができなくなったりする恐れがあります。こまめに清掃してください。

(5) メディアセンサー (取扱説明書 4 章「メディアセンサーの清掃」)

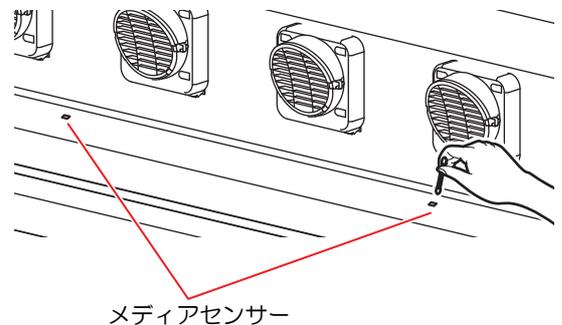
センサーは、本体背面の背面側のプラテン上と、ヘッドの下面にあります。

センサーにホコリやインクが付着すると、メディアの誤検知の原因になります。柔らかい布や綿棒でふき取ってください。

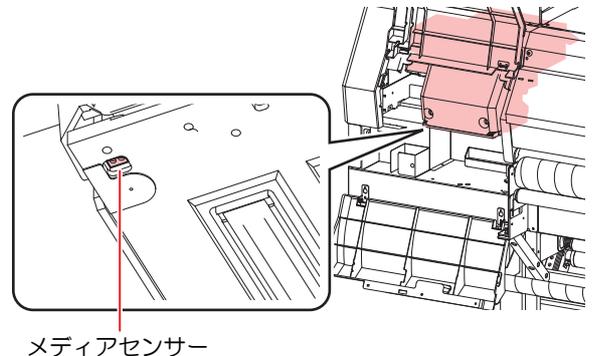


- センサーの清掃には、溶剤は絶対にお使いにならないでください。
- 汚れが激しいときは、水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

装置背面



ヘッド下面



9. 定期的に行うお手入れ（1週間に1回）

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、1週間に1回、定期的にお手入れをしてください。

(1) プラテン（取扱説明書 4章「プラテンの清掃」）

目の粗い布にプリントすると、インクの一部が布を通過しプラテンに付着します。

インク汚れが気になるときは、取扱説明書にしたがって付着したインクを清掃してください。

汚れたまま使用を続けると、メディアが正しくフィードできなくなったり、ヘッドノズル面にごみや固まったインクをこすり付けて、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因となります。



- 主電源を切り、電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



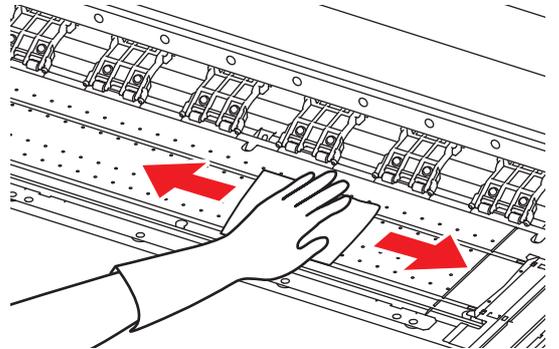
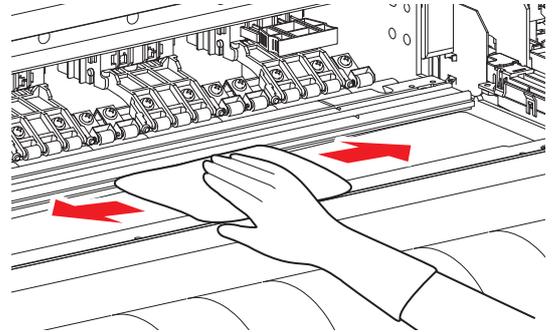
- 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障や感電、火災の恐れがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。
- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。



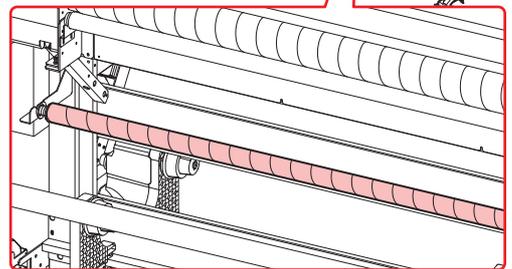
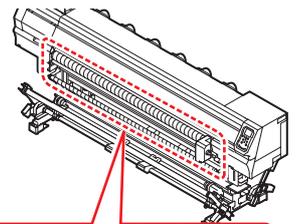
- メディア押さえをスライドする溝やメディアカットする溝は、特にごみがたまりやすい場所です。丁寧にごみを取り除いてください。



(2) 折り返しバー（巻取側）（取扱説明書 4章「折り返しバー（巻取側）の清掃」）

装置前面にある、メディア巻取時に使用する折り返しバーに付着したインクなどの汚れを取り除きます。

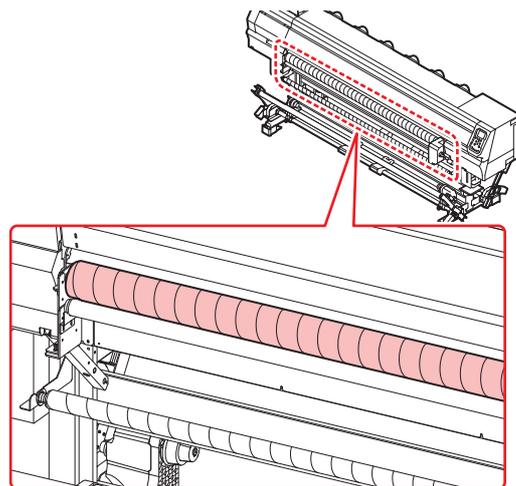
柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、軽くしぼってから拭き取ってください。



(3) 引っ張りローラー（取扱説明書 4 章「引っ張りローラーの清掃」）

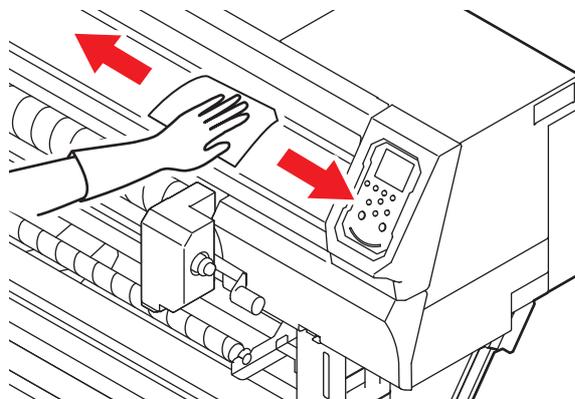
装置前面にある引っ張りローラーに付着したインクなどの汚れを取り除きます。

柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、軽くしぼってから拭き取ってください。



(4) 外装（取扱説明書 4 章「外装のお手入れ」）

使用環境により、本体の外装には塵や砂埃が付着することがあります。ヘッド移動部へのホコリの進入を防ぐために、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってからふき取ってください。

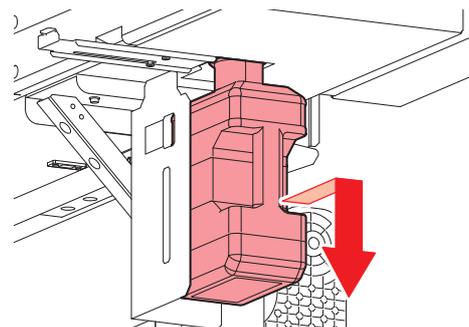


(5) 廃インクタンク（取扱説明書 4 章「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」）

廃インクタンクが満杯になっていないか確認して、廃インクがあふれないように注意してください。



- ・ 左側の廃インクタンクではインクなどの排出量を累積カウントしていません。タンクに汚水が 80% 以上溜まっても、メッセージは表示されません。こまめに左側タンクの汚水量を確認し、汚水が溜まっていたら廃インクタンクを廃棄して、新しい廃インクタンクと交換ください。



(6) インク排出路（取扱説明書 4 章「インク排出路の洗浄」）

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的に (1 週間に 1 回程度) インク排出路の洗浄 (ポンプチューブ洗浄) をしてください。

重要!

- ・ インク排出路の洗浄を行う前に、必ずメンテナンス洗浄液がセットされていることを確認してください。メンテナンス洗浄液がセットされていないと、洗浄動作をせず、経路が詰まる恐れがあります。

(7) ヘッドノズル面の縁（取扱説明書 4 章「ヘッドノズル面の縁の清掃」）

Sb411+Sb420、Sb411+TP400 インクセットをお使いの場合に清掃してください。

ヘッドノズル面の縁はインクが付着・固着することがあり、印刷不良の原因になることがありますので、クリーンスティックで拭き取ってください。

- 重要!**
- ・ヘッド周辺は、本機の中で最も汚れがたまりやすく、本機の動作や作図結果に影響を及ぼす恐れのある場所です。また、ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れには十分な注意が必要です。
 - ・メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

10. 定期的に行うお手入れ（1ヶ月に1回）

Sb411+TP400 インクセットをお使いの場合に行ってください。

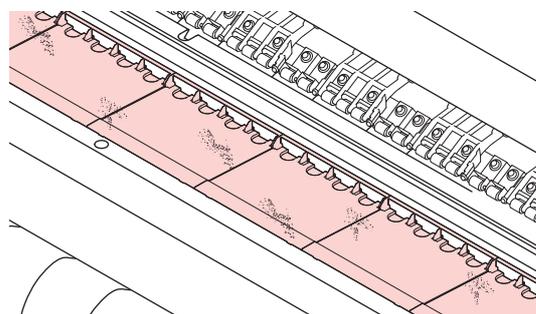
(1) インク充填（取扱説明書 4 章「インク充填」）

TP400 側ヘッド (HEAD3, 4) のインク詰まり防止用のお手入れとして、インク充填を実行して下さい。

11. プラテン切り替え時（Tx300P-1800 MkII のみ）

(1) インク受けスペーサ（取扱説明書 4 章「インク受けスペーサの清掃」）

インク受けスペーサに付着したインクなどの汚れを洗浄したいとき、取り外して洗浄できます。



(2) 布押さえ・メディア押さえの清掃（取扱説明書 4 章「布押さえ・メディア押さえの清掃」）

メディアのカットくずやホコリがメディア押さえとプラテンの間にたまると、メディアの搬送が正常に行えなかったり、ノズルに付着して正常なプリントができなくなる恐れがあります。こまめに清掃してください。

(3) プラテン（取扱説明書 4 章「プラテンの清掃」）

目の粗い布にプリントすると、インクの一部が布を通過しプラテンに付着します。

インク汚れが気になるときは、取扱説明書にしたがって付着したインクを清掃してください。

汚れたまま使用を続けると、メディアが正しくフィードできなくなったり、ヘッドノズル面にごみや固まったインクをこすり付けて、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因となります。



- 主電源を切り、電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



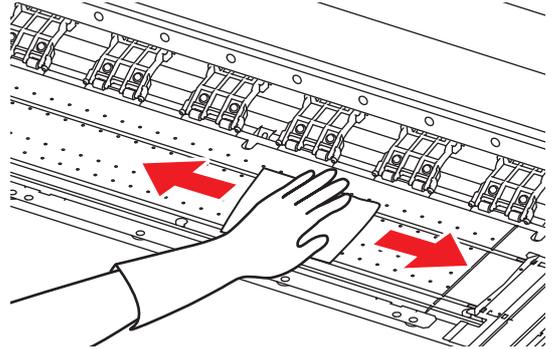
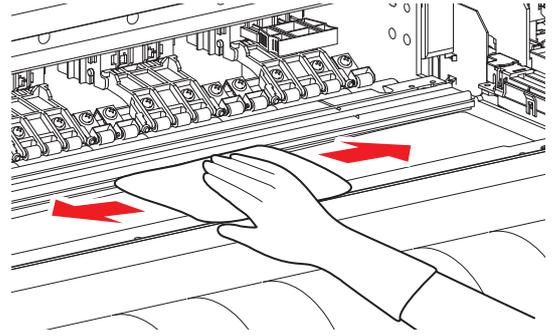
- 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障や感電、火災の恐れがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。
- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。



- メディア押さえをスライドする溝やメディアカットする溝は、特にごみがたまりやすい場所です。丁寧にごみを取り除いてください。



12. 破損・変形、汚れがひどい場合 / 定期的な交換が必要なもの

(1) ファンフィルターの交換（取扱説明書 4 章「ファンフィルターを交換する」）

ファンフィルタ（品番：SPA-0774）が汚れた場合、交換してください。

(2) ワイパーを交換する（取扱説明書 4 章「ワイパーを交換する」）

ワイパーは消耗品です。ディスプレイにワーニングメッセージ“ワイパー交換”が表示されたら、速やかにワイパーを確認・交換してください。

また、スライダ下面に付着したインクの清掃をしてください。



- ・使用するワイパーは、機種とインクセットによって異なります。
- ・適合しないワイパーをご使用になられた場合、ノズル抜けが発生する可能性があります。

機種	インクセット	使用ワイパー	
		品番	品名
Tx300P-1800	---	SPA-0271	ワイパーキット 300TS
Tx300P-1800 MkII	下記以外	SPA-0271	ワイパーキット 300TS
	Sb411+TP400/ Sb411+Sb420	SPA-0313	ワイパーキット 300Tx-II

重要!

- ・ワイパー交換のワーニングが表示された場合、ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ち等がないか確認してください。ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ちがない場合は、そのままお使いになれます。
- ・ワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

(3) キャップ吸収材を交換する（取扱説明書 4 章「キャップ吸収材を交換する」）

CP 吸収材キット（品番：SPA-0314）、CP パッドセット（品番：SPA-0269）は消耗品です。汚れがひどい場合やキャリッジからインクがポタ落ちする場合は、交換してください。

ローカルまたはガイドランスにワーニングメッセージ“キャップ吸収材 交換”が表示されたら、CP 吸収材キット（品番：SPA-0314）を交換してください。

(4) ピンチローラーを交換する（取扱説明書 4 章「ピンチローラーを交換する」）

ピンチローラー（品番：SPA-0275）の摩耗や汚れが気になるときに交換してください。

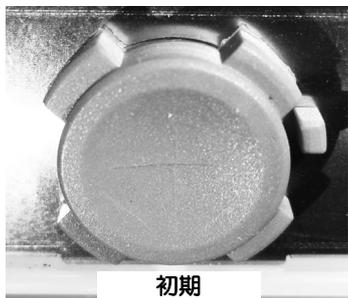


- ・ピンチローラーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
- ・それぞれの部品が小さいため、装置のすき間に落下させないよう、注意してください。

(5) スパウトゴムを交換する（取扱説明書 4 章「スパウトゴムを交換する」）

交換時期（半年）をワーニングでお知らせします。汚れたときやワーニングが表示されたときに、スパウトゴム（品番：SPA-0317）を交換してください。

- スパウトゴムは、8 セットすべて同時に交換してください。
- 使用環境や使用条件により、スパウトゴムが半年以内に劣化する場合があります。写真のように中央のすき間が広がった場合、ワーニングメッセージにかかわらず交換してください。



初期



使用可能



交換が必要



- 2L インクパックを交換するときは、保護メガネと手袋を着用してください。誤ってインクが目に入る可能性があります。



(6) MBIS オスコネクタ吸収材を交換する（取扱説明書 4 章「MBIS オスコネクタ吸収材を交換する」）

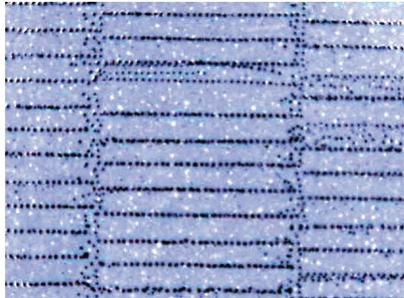
2L インクパック交換時、定期的（5 ～ 10 回）にオスコネクタ吸収材（付属品）を交換することで、台座内の汚れを防止することができます。

- オスコネクタ吸収材交換時は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。

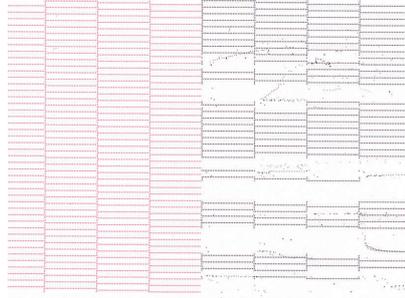


13. 作図不良の例

ホコリなどを原因として発生するヘッド(ノズル)の吐出不良が、作図に及ぼす代表的な例を示します。このような状態で使用しないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認してください。ノズルの状態は、本機の「テストプリント」で確認できます。(取扱説明書2章「テストプリントを行う」)



1. 飛行曲がり



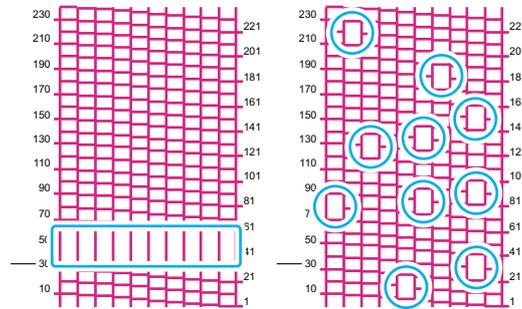
2. ノズル抜け



3. ポタ落ち



4. しびき



5. 空気の混入

14. ノズル吐出不良の回復方法

本機を長時間使用しなかった場合や環境温度によっては、ノズルの吐出が不安定になる場合があります。この場合、ノズルを回復させるために以下の方法があります。

■ P.14「作図不良の例」1～4の症状の場合

1. 日ごろのお手入れ

- 本書に記載されている、各所のお手入れを行ってください。

2. ヘッドクリーニング（ノーマル）をする 取扱説明書 2章

- 1のお手入れを行った後、取扱説明書の手順に従ってヘッドクリーニングを実施します。

→ テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2章)

ノズル抜け等が改善しない場合

3. ヘッドクリーニング（ハード）をする 取扱説明書 2章

- 数回ノーマルクリーニングを繰り返してもノズル抜けがなくなる場合、クリーニングモードをハードに設定して、再度ヘッドクリーニングを実施します。

→ テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2章)

ノズル抜け等が改善しない場合

4. ヘッドノズルの洗浄をする 取扱説明書 4章

- ヘッドノズルの洗浄をしてください。
このとき、メンテナンス洗浄液の放置時間は [1分] にします。

→ テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2章)

ノズル抜け等が改善しない場合

5. 再度、ヘッドノズルの洗浄をする 取扱説明書 4章

- メンテナンス洗浄液の放置時間を [10分] にして、再度、ヘッドノズルの洗浄をしてください。

→ テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2章)

重要!

- 以上の操作をしてもノズル抜けが回復しない場合には、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

15. サプライ品のご案内

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。

消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。

<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>

品名		品番	品名		品番
洗浄液 (メンテナンス キット)	昇華染料インク :Sb420	ML003-2-K1	CP パットセット (キャップ吸収材)	SPA-0269	
	昇華染料インク :Sb421		CP 吸収材キット	SPA-0314	
	分散染料インク :Dd400		廃インクタンク (2L)	SPA-0246	
酸性染料インク :Ac400	ワイパーキット 300TS		SPA-0271		
反応染料インク :Rc400	反応染料インク :Rc500		ワイパーキット 300Tx-II*	SPA-0313*	
ハイブリッド : Sb411+Sb420	ハイブリッド : Sb420+TP400 Sb421+TP400 Sb411+TP400		C-ML012-Z- K1-1-KW	インク受けスパーサ	SPA-0276
	捺染顔料インク :TP400		300 ファンフィルター	SPC-0774	
ヘッド周辺用クリーンスティック 50 入		SPC-0527	PR-T (ピンチローラー)	SPA-0275	
ヘッド周辺用テクノワイプ		SPC-0855	メディア押え Tx	SPA-0278	
2L ケースゴム栓		SPA-0250	MBIS オスコネクタ吸収材	SPA-0625	
スパウトゴム		SPA-0317			

*: Tx300P-1800 MkII 専用です。インクセットは、Sb411+TP400、または Sb411+Sb420 を使用します。



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

© 2016 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.

D202938-33-08052021

AT

FW Tx300P: 3.60 / MkII: 1.30